

各 位

上場会社名	内外トランスライン株式会社
代表者	代表取締役社長 小嶋 佳宏
(コード番号)	9384)
問合せ先責任者	取締役 三根 英樹
(TEL)	06-6260-4800)

## 2022年12月期第2四半期累計期間の 連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2022年12月期第2四半期において、2022年4月28日に公表の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績の差異(2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,600	2,410	2,440	1,660	170.49
実績(B)	23,552	3,139	3,343	2,269	233.00
乖離額(B-A)	1,952	729	903	609	
乖離率(%)	9.0	30.3	37.0	36.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	15,370	1,662	1,733	1,160	119.25

### 差異の理由

当社グループの2022年12月期第2四半期累計期間における連結業績は、4月28日に公表しました以下の状況が継続し、想定を超えて業況が進捗したことから、前回予想を上回る結果となりました。

#### (日本セグメント)

単体においては主力の海上混載やフルコンテナの単価が前回予想を上回りました。また、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは、海上コンテナスペースのひっ迫により航空輸送の案件を増やし、大口の設備輸入案件を獲得しました。フライングフィッシュ株式会社は積極的な新規取引拡大等により、食品輸送の取扱いが増加しました。結果、日本セグメント業績は前回予想を上回る結果となりました。

#### (海外セグメント)

当社グループはアジア地域及び米国に連結子会社11社を有しております。これらの海外子会社では日本からの貨物の取扱が売上高の大半を占めておりますが、近年では日本発着以外のサービスも強化、推進しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、フォワーディング案件を順調に取込み、海外セグメント業績は前回予想を上回る結果となりました。

以上の状況により、2022年12月期第2四半期累計期間の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を上回る結果となりました。

なお、2022年12月期通期連結業績予想につきましては目下精査中です。開示すべき事実が生じた場合は速やかに開示いたします。

以 上